

2025年12月期 上半期 決算戦略説明会資料

株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント

2025年8月22日

本日のポイント

1. 2025年度12月期上半期 連結決算の概要

- 連結売上高成長率は**期初計画を上回る**高い伸びとなり、売上高、営業利益、当期純利益とも**過去最高**水準を達成。

2. 通期業績予想

- 下半期の売上高は年初計画どおり+15%で据え置くが、上半期の上振れ分を踏まえ、**通期では+18.2%の成長率**を予想。売上高は年初予想449億円から463億円へ、営業利益は年初予想100億円から112億円へ、当期純利益は年初予想70億円から78億円へと引きあがる見込み。
- 2025年度配当(DPS)を年初予想から**3円引き上げ**、前期比**9円増配の35円**を予想。利益拡大にあわせ、安定的に増配基調を維持していく。

3. 経営戦略の進捗状況

- JACが得意とする**ハイクラス/プロフェッショナル層の人材紹介マーケット**は、**2025年度上半期も順調に推移**。今後も拡大が見込まれる。
- 人材戦略、事業戦略とも順調に計画通り推移、事業効率化も着実に進展。中期経営計画も前倒しで達成していく。
- 持続的成長を実現するため、引き続き、気候変動対応やDE&I経営の促進等にも取り組む。

1．2025年12月期上半期 連結決算の概要 と通期業績予想

2025年12月期 上半期 JACグループ実績

売上高は前年同期比21.7%増、経常利益は43.3%増、当期純利益は48.6%増で、いずれも年初計画を上回り、過去最高。

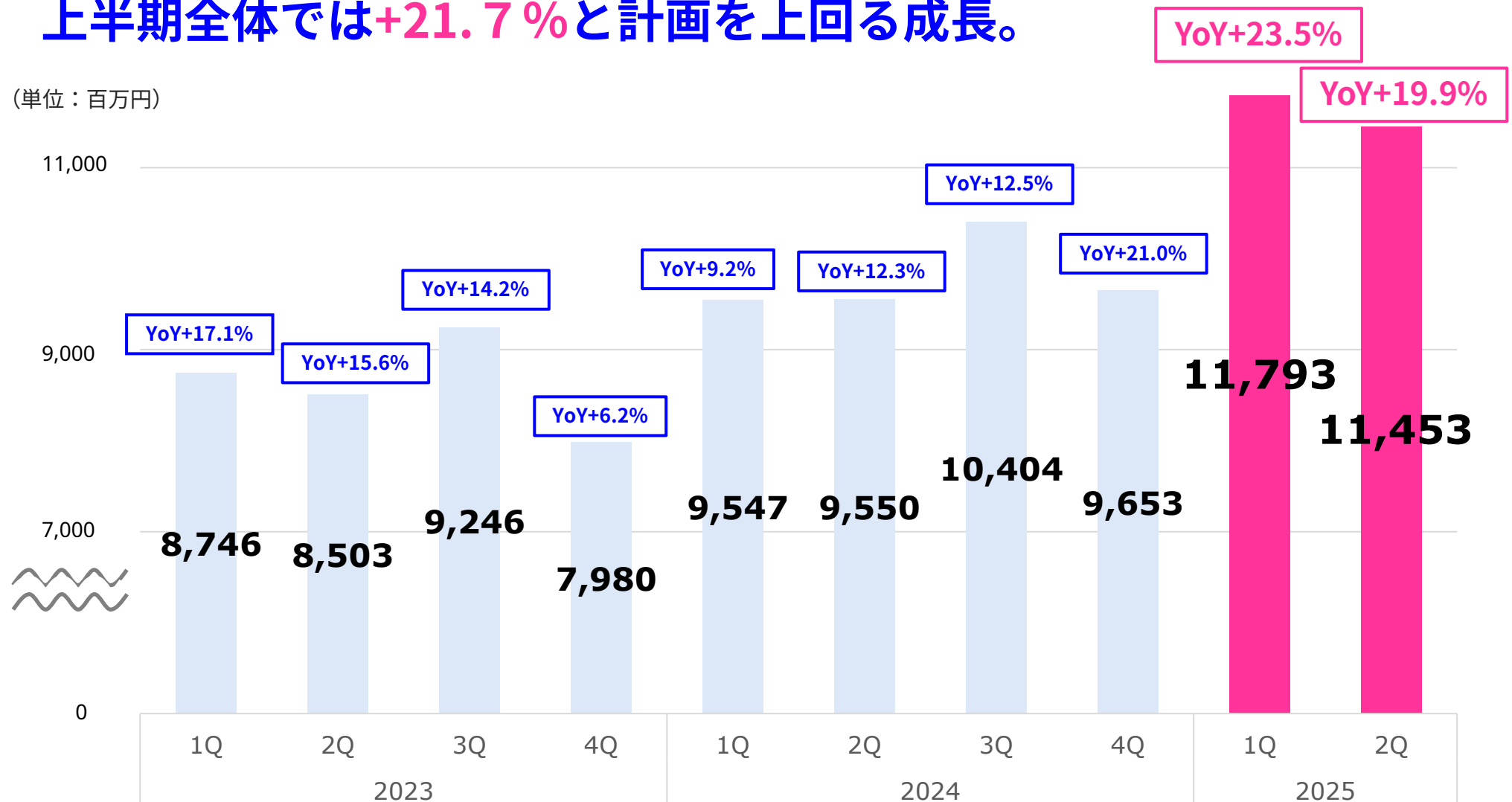
(単位：百万円)

	2024年12月期 上半期	2025年12月期 上半期	前年 同期比	計画比	
				半期達成率	通期進捗率
売上高	19,097	23,247	+21.7%	106.6%	51.8%
売上総利益(GP)	17,646	21,538	+22.1%	106.6%	51.8%
営業利益	4,358	6,238	+43.1%	132.7%	62.4%
EBITDA	4,690	6,440	+37.3%	-	-
EBITDA Margin	24.6%	27.7%	+3.1pt	-	-
経常利益	4,360	6,247	+43.3%	132.9%	62.5%
税引前中間純利益 (PBT)	4,278	6,246	+46.0%	132.9%	62.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	2,873	4,270	+48.6%	129.4%	61.0%

全社売上高の四半期比較

1Qは前期比+23.5%で過去最高の四半期売上、2Qは前期比+19.9%、上半期全体では+21.7%と計画を上回る成長。

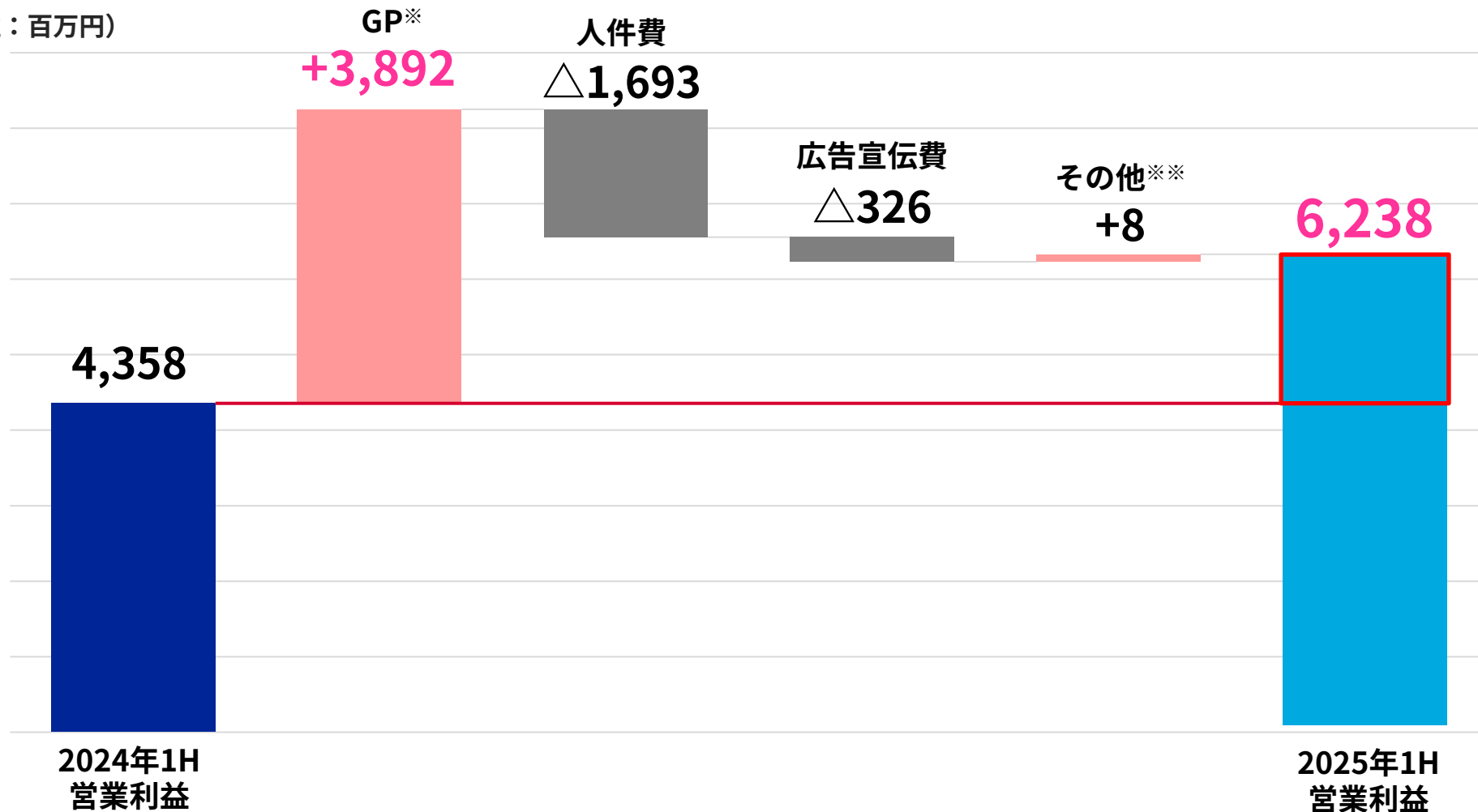
(単位：百万円)



前年同期比での営業利益の変動要因

GPの着実な増加と「Minimum Cost」の取り組みにより、営業利益は
前年同期比+43.1%。

(単位：百万円)



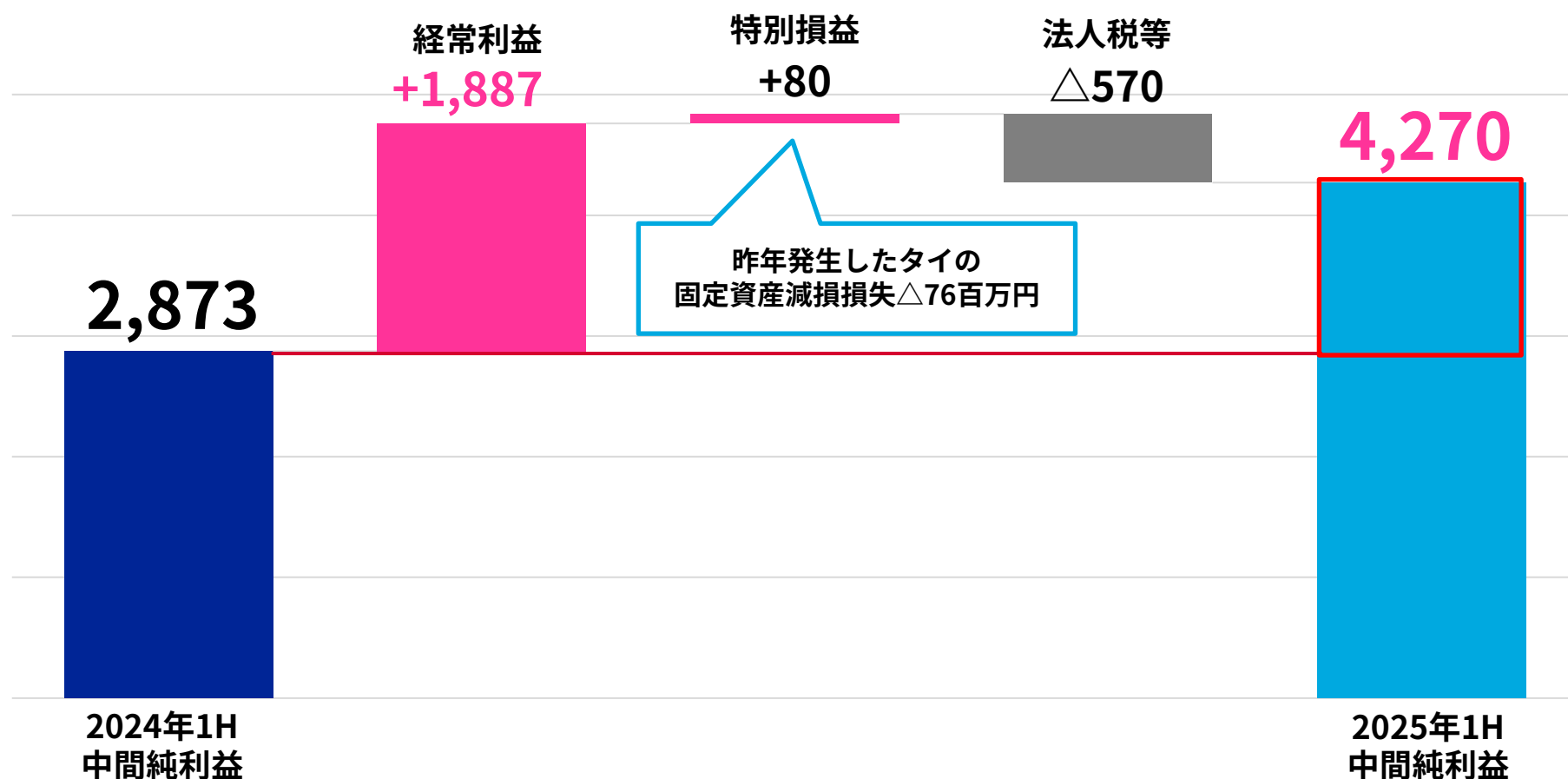
※GP: Gross Profit (売上総利益)

※※ 前年同期一過性の費用の反動、コスト削減効果、IT投資計画の後ろ倒し等

前年同期比での中間純利益の変動要因

前年同期に発生したタイの固定資産減損損失の剥がれなどにより、中間純利益は前年同期比+48.6%。

(単位：百万円)



2025年度 上半期 セグメント別実績

国内人材紹介は過去最高の売上高、利益。海外事業は若干の減収となったが、黒字を回復。国内求人広告事業は着実に成長。

(単位：百万円)

セグメント別売上高	2024年12月期 上半期	2025年12月期 上半期	前年同期比
国内人材紹介事業	17,003	21,147	+ 24.4%
海外事業	1,903	1,893	△ 0.5%
国内求人広告事業	190	206	+ 8.4%
セグメント別損益	2024年12月期 上半期	2025年12月期 上半期	前年同期比
国内人材紹介事業	4,290	6,095	+ 42.1%
海外事業	△31※	99	—
国内求人広告事業	20	50	+ 150.9%
税引前中間純利益 (PBT)	4,278	6,246	+ 46.0%

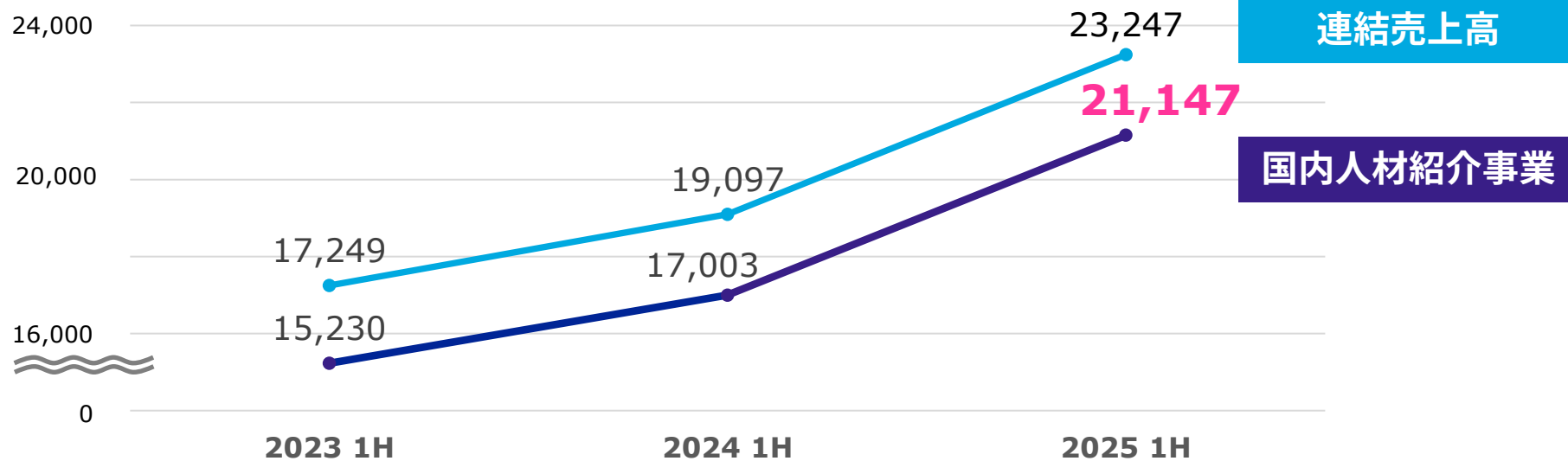
※タイの固定資産減損損失(△76百万円)を含む

セグメント別売上高実績 3 期比較

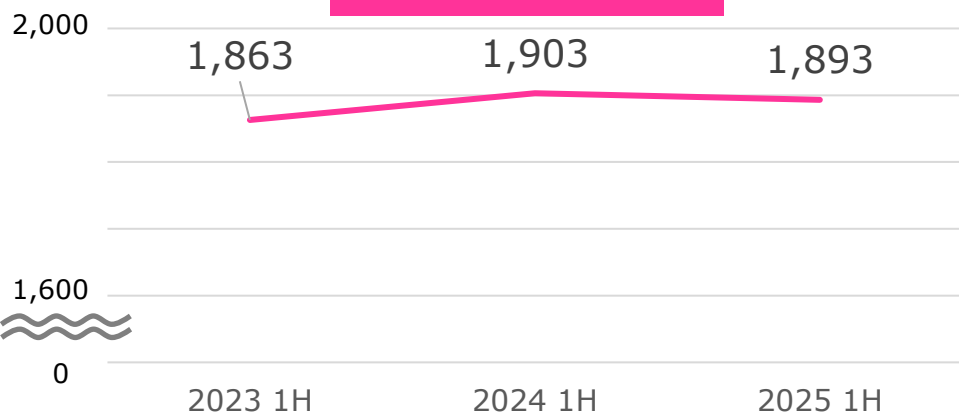
主力の国内人材紹介事業の売上高は前年同期比+24.4%

■ セグメント別売上高実績 3 期比較

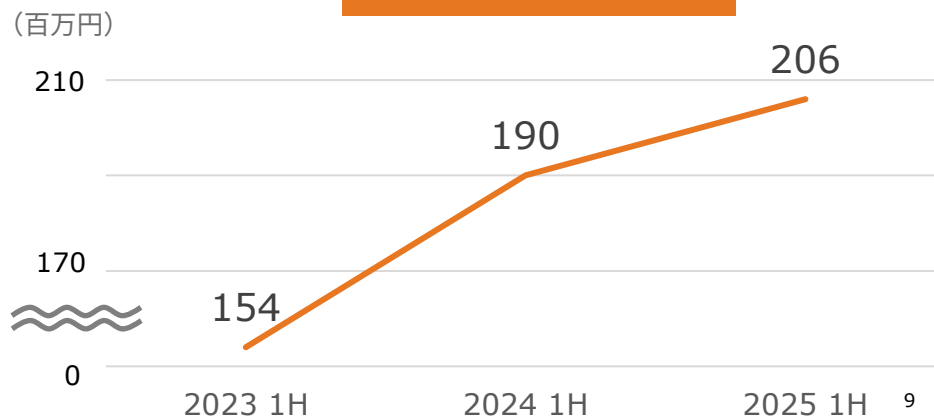
(百万円)



(百万円)



(百万円)



2025年度 上半期末 貸借対照表概要

自己資本比率は**70.3%**と、高い財務の安定性を維持

(単位：百万円、%)

科 目	24年12月期末		25年12月期上半期末		差額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	22,349	85.9	22,385	85.2	+35
現金及び預金	19,051	73.2	18,086	68.8	△ 964
売掛金	2,685	10.3	3,347	12.7	+662
固定資産	3,663	14.1	3,902	14.8	△ 239
有形固定資産	518	2.0	623	2.4	+104
無形固定資産	834	3.2	854	3.3	+20
投資その他の資産	2,309	8.9	2,423	9.2	+114
資産合計	26,013	100.0	26,288	100.0	+274
流動負債	7,726	29.7	7,607	28.9	△ 118
固定負債	191	0.7	211	0.8	+19
負債合計	7,917	30.4	7,819	29.7	△ 98
純資産合計	18,095	69.6	18,469	70.3	+373
負債・純資産合計	26,013	100.0	26,288	100.0	+274

2025年度 上半期 キャッシュフローの状況

▶手元資金は今後の事業投資、配当、および不況期における従業員の雇用維持に充てることを経営方針とする

(単位：百万円)

	2024年12月期 上半期	2025年12月期 上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,182	3,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 423	△ 426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,724	△ 4,224
現金及び現金同等物の期末残高	15,929	18,086

2025年12月期 通期業績予想

上半期の状況を踏まえ、通期業績予想を期初から見直し

- 下半期の売上高は年初計画どおり+15%で据え置くが、上半期の上振れ分を踏まえ、**通期では+18.2%の成長率を予想。**

(単位：百万円)

	2024年12月期 通期実績	2025年12月期			前期比		
		期初予想(通期)	今回予想	差額	増加額	増加率	年初予想
売上高	39,156	44,900	46,300	+1,400	+7,144	+18.2% 	+14.7%
売上総利益 (GP)	36,248	41,600	42,900	+1,300	+6,652	+18.4% 	+14.8%
営業利益	9,090	10,000	11,200	+1,200	+2,110	+23.2% 	+10.0%
経常利益	9,122	10,000	11,200	+1,200	+2,078	+22.8% 	+9.6%
税引前当期純利益 (PBT)	8,348	10,000	11,200	+1,200	+2,853	+34.2% 	+19.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,611	7,000	7,800	+800	+2,189	+39.0% 	+24.8%

株主還元方針

税引後利益予想の上振れを踏まえ、2025年度配当(DPS)を年初予定から3円引き上げ、前期比9円増配の35円を予定。

配当方針

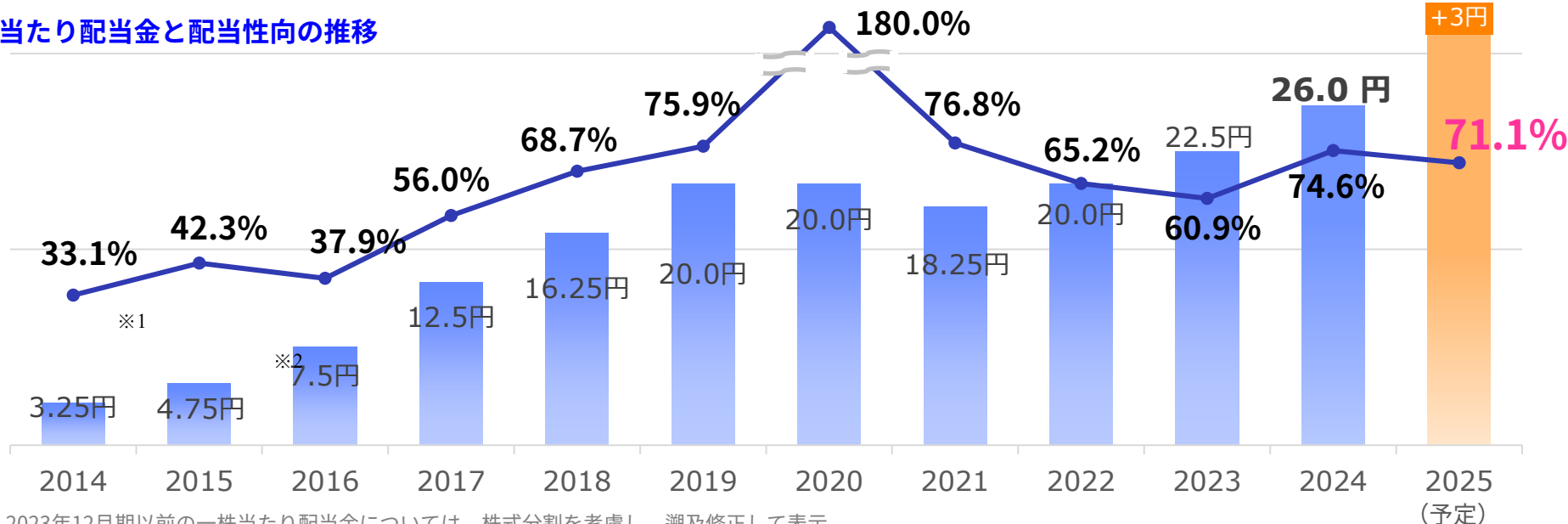
配当性向60%～65%を目途として配当を行う。
利益成長に伴い、安定的に増配基調を維持する。

	2024年度実績	2025年度予定		
			増配額/増加率	年初予定比
DPS	26円	35円	+9円	+3円
DOE	22.7%	27.8%	+5.1pt	+1.6pt

DOE : 27.8%

35.0円

■一株当たり配当金と配当性向の推移



※1 2023年12月期以前の一株当たり配当金については、株式分割を考慮し、遡及修正して表示

※2 2015年12月期以降の配当性向は、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式を含めて計算

※3 2025年12月期の配当性向は2024年12月期通期第2四半期予定時の数字

確実性の高い高収益事業のみにフォーカスし、リスクテイクは最小限とする方針。

事業投資基準

- ・ 当社の推定資本コスト（6.7%）をベースに設定するハードルレートを十分に上回る投資効率
- ・ 既存事業の利益水準を維持向上する高収益事業をのみにフォーカス

投資パターン：

- ・ 事業効率向上のためのシステム投資
- ・ 既存事業会社内での新規事業の立ち上げ
- ・ M&A（投資効率が高く、長期事業計画に沿うもののみ）

撤退基準：

- 1) 2年以上損失を計上の場合、検討を開始
- 2) 収益改善計画（マネジメント体制や注力マーケットの見直し、グループ全体での支援体制構築等を含む）を策定・推進
- 3) 収益改善が進まない場合、当該マーケットの将来性・安定性・競争環境などを勘案して、撤退を決定

2. JACグループの現在

売上総利益（GP）と社員数の10年の推移

2015年 → 2025年予想

GP：136 億円 ⇒ 429 億円 (3.2 倍)

社員数：1,090人 ⇒ 2,500人 (2.3 倍)

社員数：コロナ禍以降1.9倍

GP：コロナ禍以降2.1倍

社員数：コロナ禍まで1.3倍
GP：コロナ禍まで1.6倍

コロナ禍

1,090人

136億円

1,433人

224億円

1,350人

200億円

362億円

2,063人

2,500人

429億円

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

(予想)

■ 売上総利益（GP） ● 従業員数(連結)

※従業員数は正規雇用者数（連結）

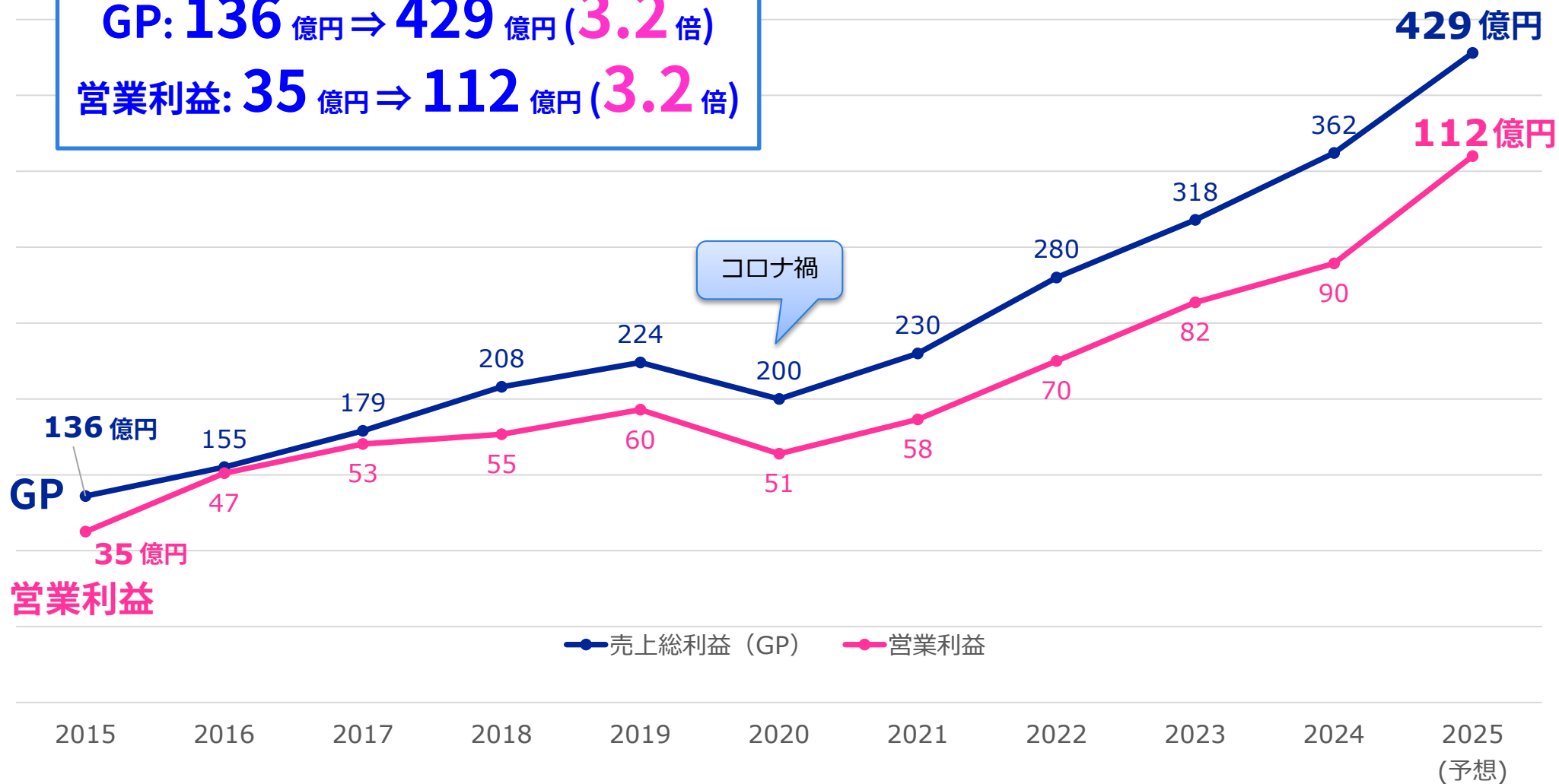
売上総利益(GP)と営業利益の10年の推移

2015年 → 2025年予想

GP: 136 億円 ⇒ 429 億円 (3.2 倍)

営業利益: 35 億円 ⇒ 112 億円 (3.2 倍)

(単位：億円)



株価と時価総額の10年の推移

(単位：円、億円)

速報

2025年8月21日

株価：1,160円 (4.9倍)

時価総額：1,920億円 (4.9倍)

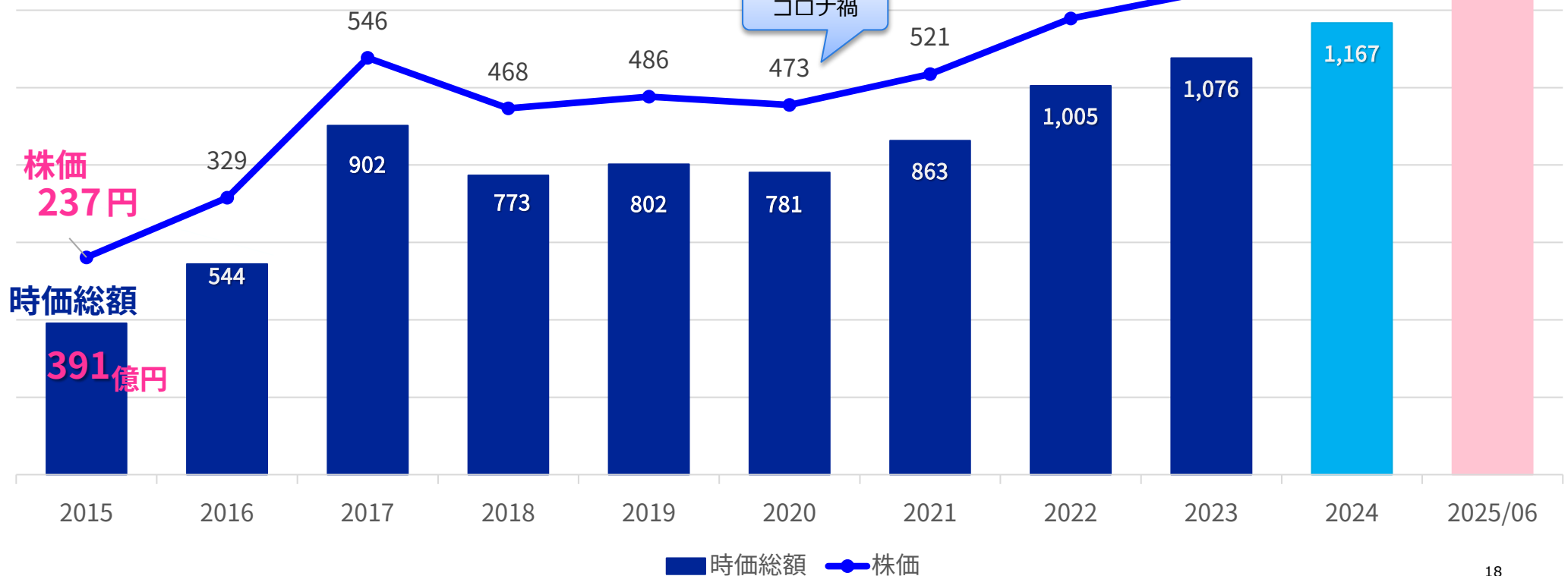
2015年 → 2025年6月末

株価：237円 ⇒ 1,013円 (4.3倍)

時価総額：391億円 ⇒ 1,677億円 (4.3倍)

参考：TOPIX: 1,547.30 ⇒ 2,852.84 (1.8倍)

コロナ禍



3. 2025年度上半期の進捗状況と経営戦略

2025年度 上半期の概況・取り組み

国内人材紹介事業

【事業環境】

1. 米通商政策による売上高への影響は若干にとどまった。下半期も同様のマーケットと推測
2. 当社事業の中核をなすミドル・ハイクラス人材の動きは活発

【取り組み】

1. 市場環境の変化に留意しながら、当社のコアビジネスである高額年収帯を軸として、エグゼクティブ領域については全業種・全拠点で取り組みを強化
2. 地方拠点においては、各地でその拡充を進めており、5月には北海道支店を開設

海外事業

1. アジア地域を中心に厳しい状況が続く
2. 本社の営業担当執行役員を海外拠点に派遣し、現地日系企業の採用マーケット開拓を図りつつ、さらなるグローバル・アカウントマネージメントを推進し、各国でコンサルタントとマネジメントの育成強化を図っている

国内求人広告事業

1. 国内人材紹介事業との連携を図ることで求人・求職者の登録増加を進める
2. 企業向けダイレクト・リクルーティングを強化し、売上の拡大を図る

2025年度の経営戦略の進捗状況

人事／HR戦略

1. コンサルタントの純増と生産性の維持

2. 人材育成

事業戦略

3. マーケット戦略

- (1) 国内人材紹介事業の業種別売上高の状況
- (2) 高額化戦略
- (3) 地方拠点の強化
- (4) 海外事業戦略

4. 事業効率化

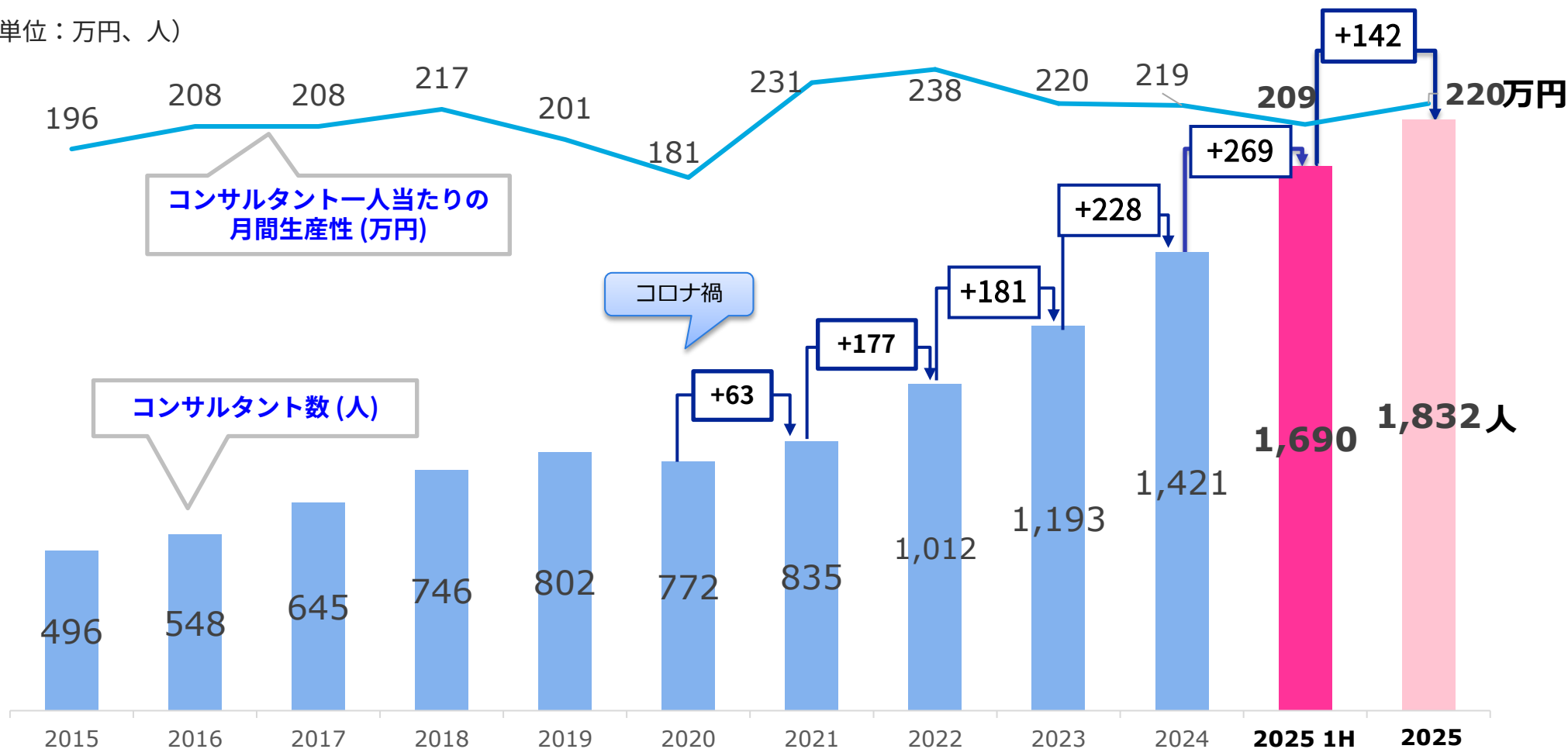
- (1) BPRの推進

1. コンサルタントの純増と生産性の維持

新卒約150名に加え、各業界経験者の採用を増強し、コンサルタント数は着実に増加。

コンサルタント数と生産性の10年の推移 (国内人材紹介事業※)

(単位：万円、人)

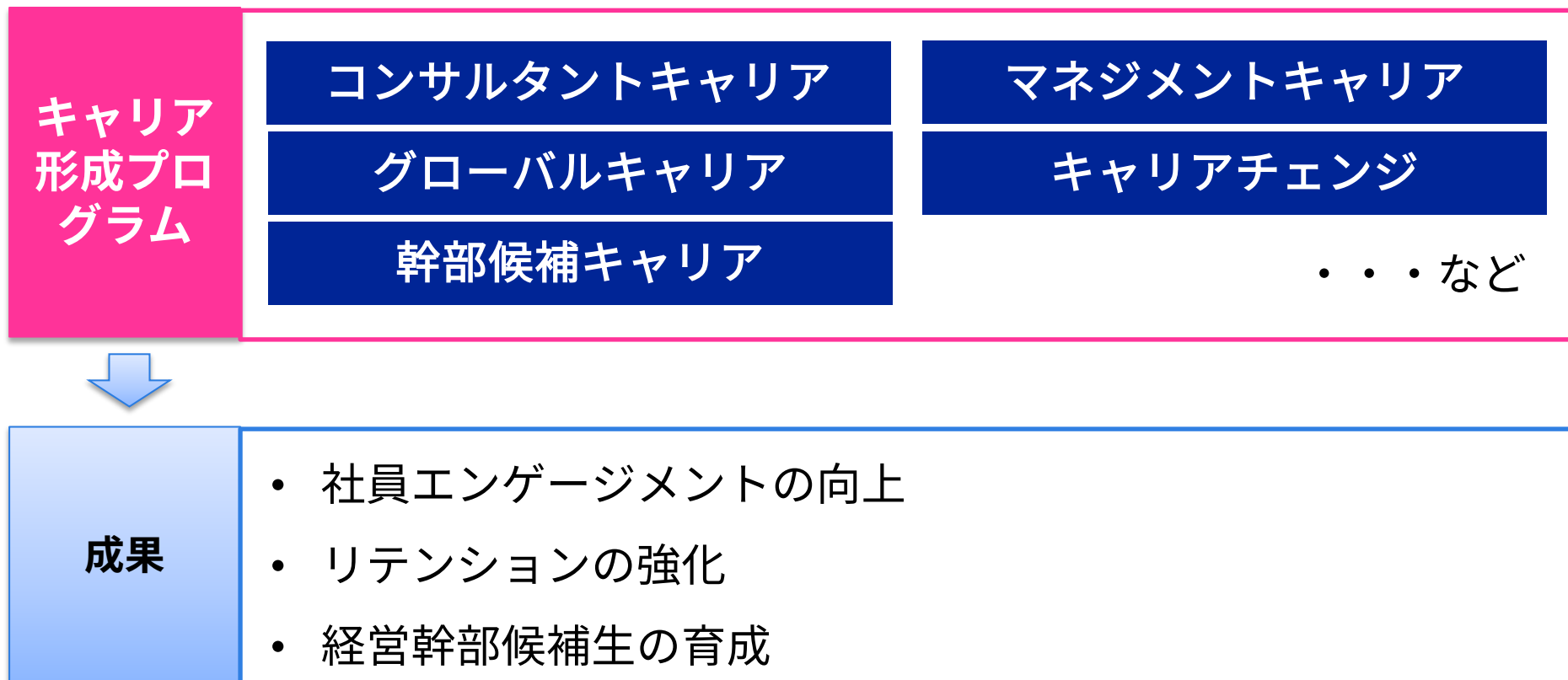


※JAC Recruitment + JAC International + VantagePoint(2020年度以降)

2. 人材育成 (1)キャリア形成プログラムの導入

- **HRBPの強化** ⇒各事業部門にOJT部隊“HRBP”を増員
- **キャリア形成プログラム**を導入し、入社年次の浅い社員から順次、キャリア対話を実施。6月までに800人との面談を完了。

下半期以降でそれを全社員に拡大し、今後毎年1回の面談実施を予定。



2. 人材育成 (2)マネジメント教育

マネジメントレイヤーの“Mission and Duty”の明確化と研修の強化

部長・次長向け研修の強化

- 部長・次長のMission & Dutyを明確化
- 全部長・次長を対象に、CEOを講師とした研修を実施

グローバル各社のマネジメント研修

- グローバル各社のシニアマネジメントへの合宿研修を実施
⇒ 日本本社執行役員が指導役となり、各社での課題の明確化と改善プランを策定とその実施

執行役員の海外派遣

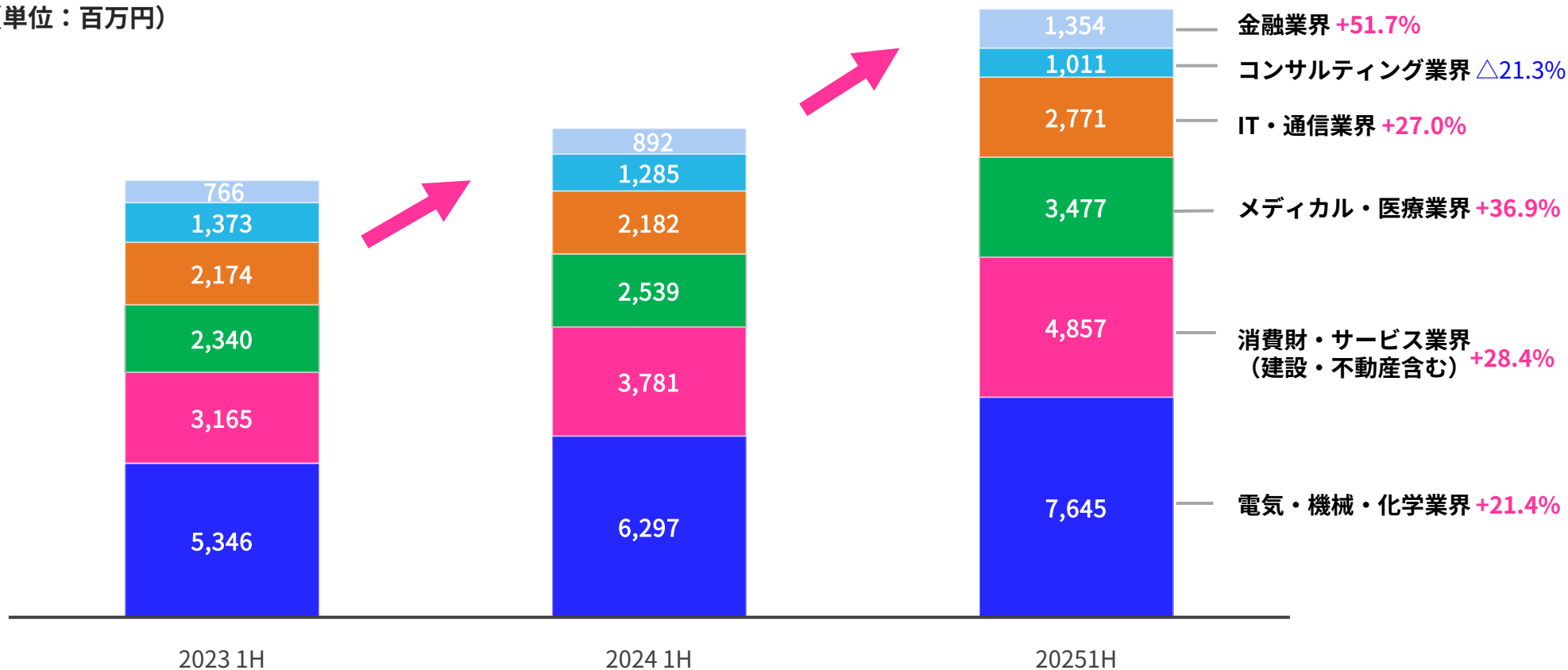
- 本社の事業部執行役員を、海外拠点に派遣。
⇒ 現地法人のマネジメントを体感し、経営者としてのスキルを向上。

3. マーケット戦略 (1)国内人材紹介事業の業種別売上高の状況

金融業界は前年同期比+51.7%の大幅増、その他の業種もコンサルティング業界を除く全業種で+20%超の増収。

業種別売上高の過去3年上半期比較 (国内人材紹介事業※)

(単位：百万円)



※JAC Recruitment + JAC International + VantagePoint

3. マーケット戦略 (2)高額化戦略 ①Executive領域

フォーカス市場・領域

Executive



2025年度取り組み

全業種でエグゼクティブ専門UNITを設置

全社

2024年上半期実績

13億円

45%UP

2025年上半期実績

19億円

東京本社

2024年上半期実績

7億円

52%UP

2025年上半期実績

11億円

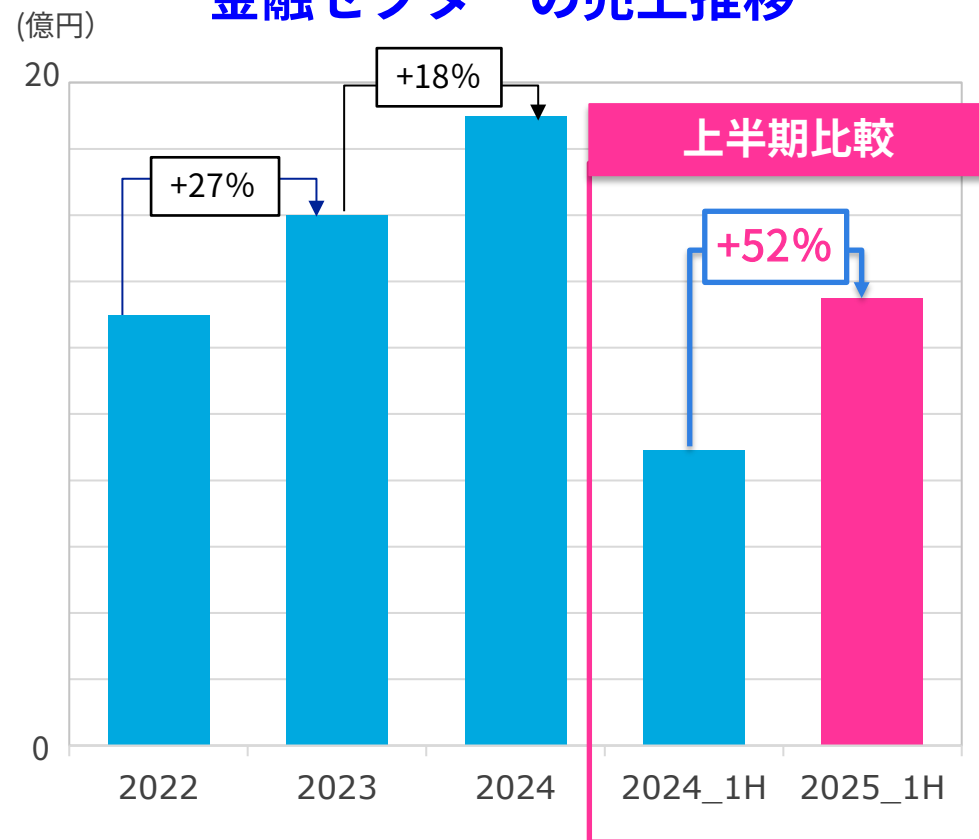
★サーチ領域で2.5億円の成約

3. マーケット戦略 (2)高額化戦略 ②金融セクター

フォーカス市場・領域

金融セクター

金融セクターの売上推移



2025年度の取り組み

- 投資銀行、Private Equity Fundなどの高年収帯や金融専門職に注力/強化
- 外資系金融、金融Executiveなど高年収帯も強化



上半期の前年同期比で
52%の売上増加

3. マーケット戦略 (3)地方拠点の強化

フォーカス市場・領域

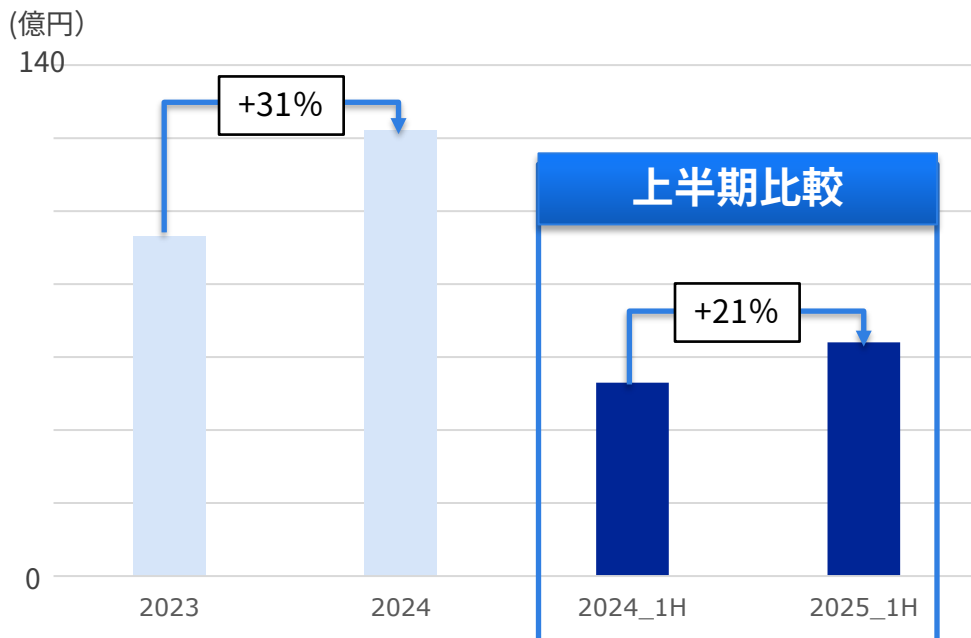
地方拠点

2025年度への取り組み

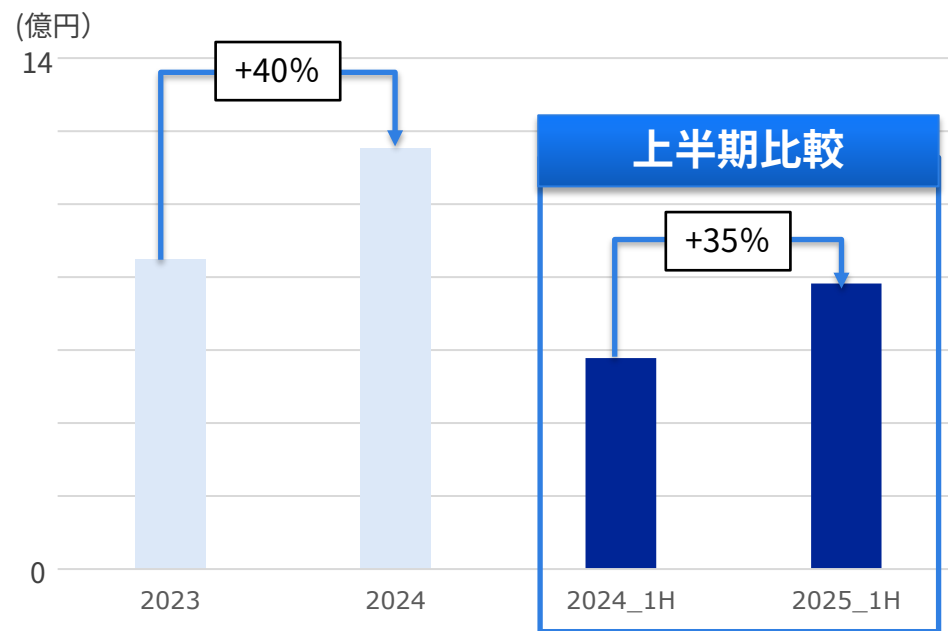
拠点の拡充、地方×Executiveの強化

上半期の成果

札幌に新拠点、地方拠点全体で20%超の成長堅持



地方エグゼクティブ領域は組織強化で35%の高成長



3. マーケット戦略 (4)海外事業戦略

Global Account Managementの強化

- 顧客訪問数：前年同期比約3倍に増加
⇒今後の成長基盤の形成
- 日本※1からの紹介：前年同期比+26%※2

例) 現地法人トップの案件紹介 ⇒国内外で連携して成約

※1 JACリクルートメント、JAC International、CareerCrossの合計、 ※2 求人・商談・登録者の合計

年収帯の高い地域の拠点強化

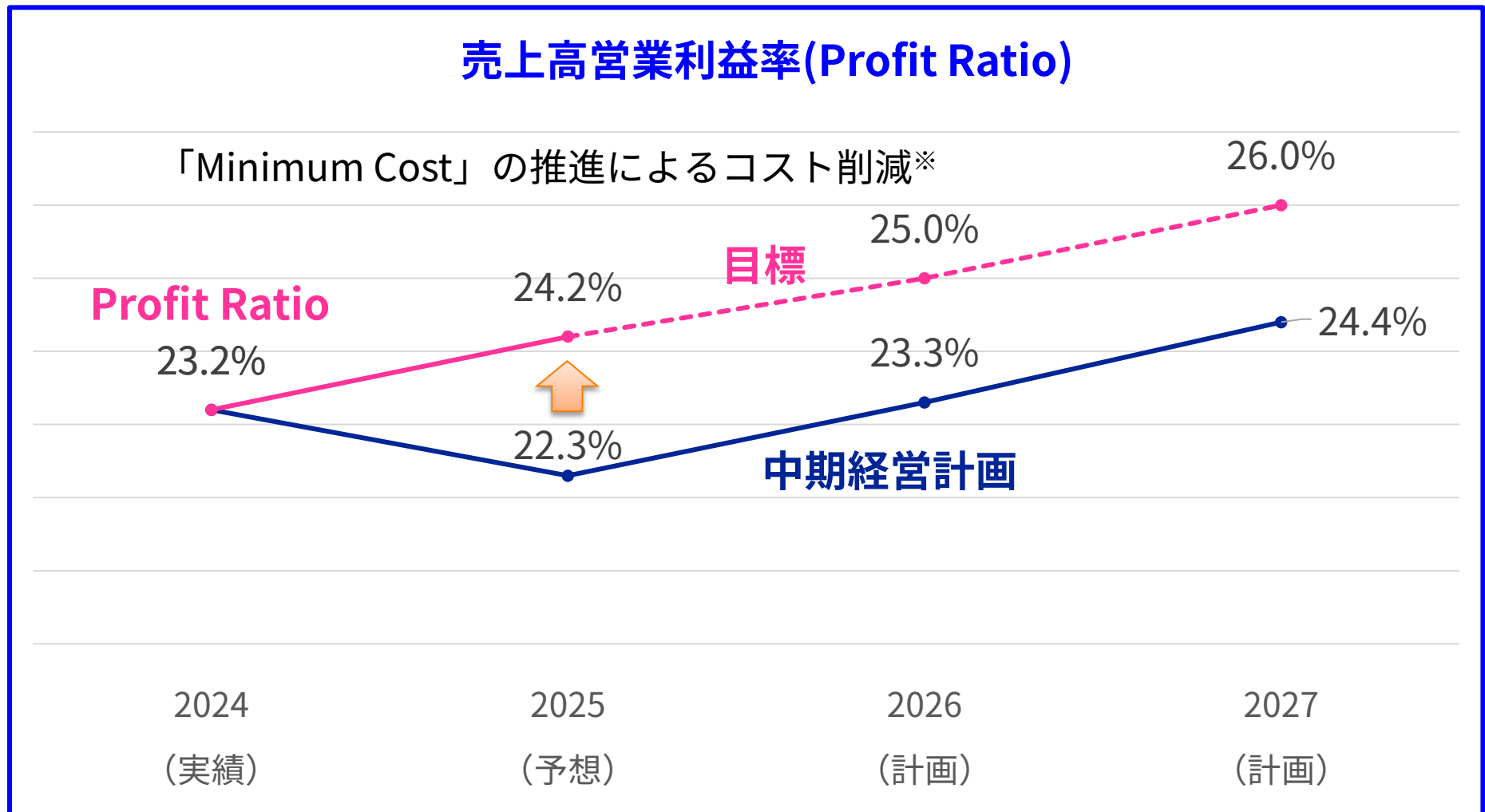
欧州・米国拠点の成長率

	JAC (1H)	外資系A社 (1Q/2Q)	外資系B社 (1H)	外資系C社 (1H)
US	+18%	+7%/+14%	-39%	+5%
UK	+2%	-13%/-14%	-5%	-13%
ドイツ	+10%	-12%/-21%	-27%	-9%

4. 事業効率化 (1) BPRの推進

全ての業務で見直しを図り、業務効率化による利益率の向上を実現。

⇒Profit Ratioの改善



※IT投資の次年度繰り越し（1.4億円）を含む

4. サステナビリティの取り組み



地球の豊かな未来に向けて、2008年から植林活動に取り組む

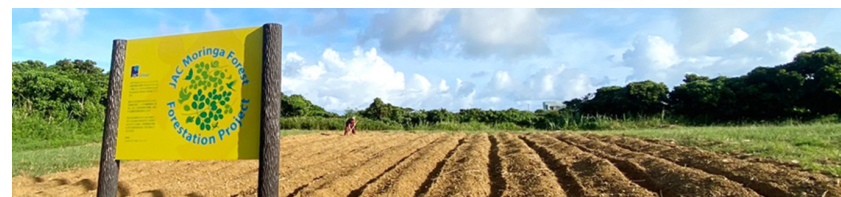
PPPプロジェクト

One Placement creates One Plant to save the Planet

世界各国のJAC各社を通じて転職された方お一人につき一本の植林を実施。これにより、森を育み、生態系を守り、地球温暖化対策にも寄与。

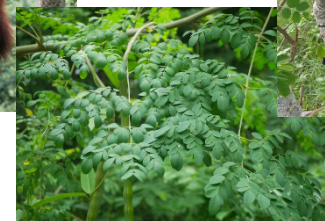
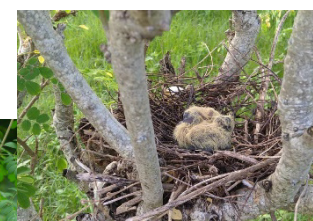
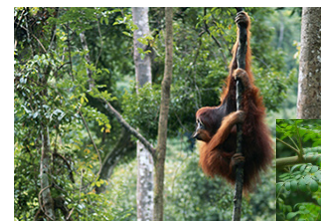
「JACモリンガの森」プロジェクト

2030年までに約6,000t/年のGHG吸収を計画
GHG吸収力の高いモリンガ等を植樹を進め、2030年にScope3を含めたカーボンネットゼロを目指す。

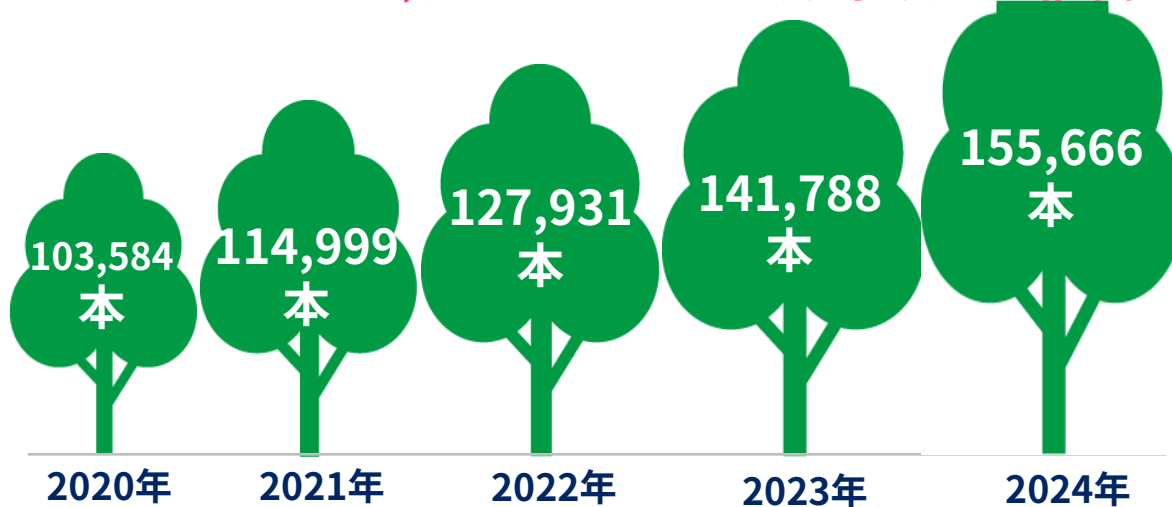


【モリンガ植林】

2024年 宮古島1,000本
2025年 タイ4,000本
マレーシア3,900本
宮古島3,000本



2024年はグループ全体で12,878本を植樹。累計15万本以上を植樹



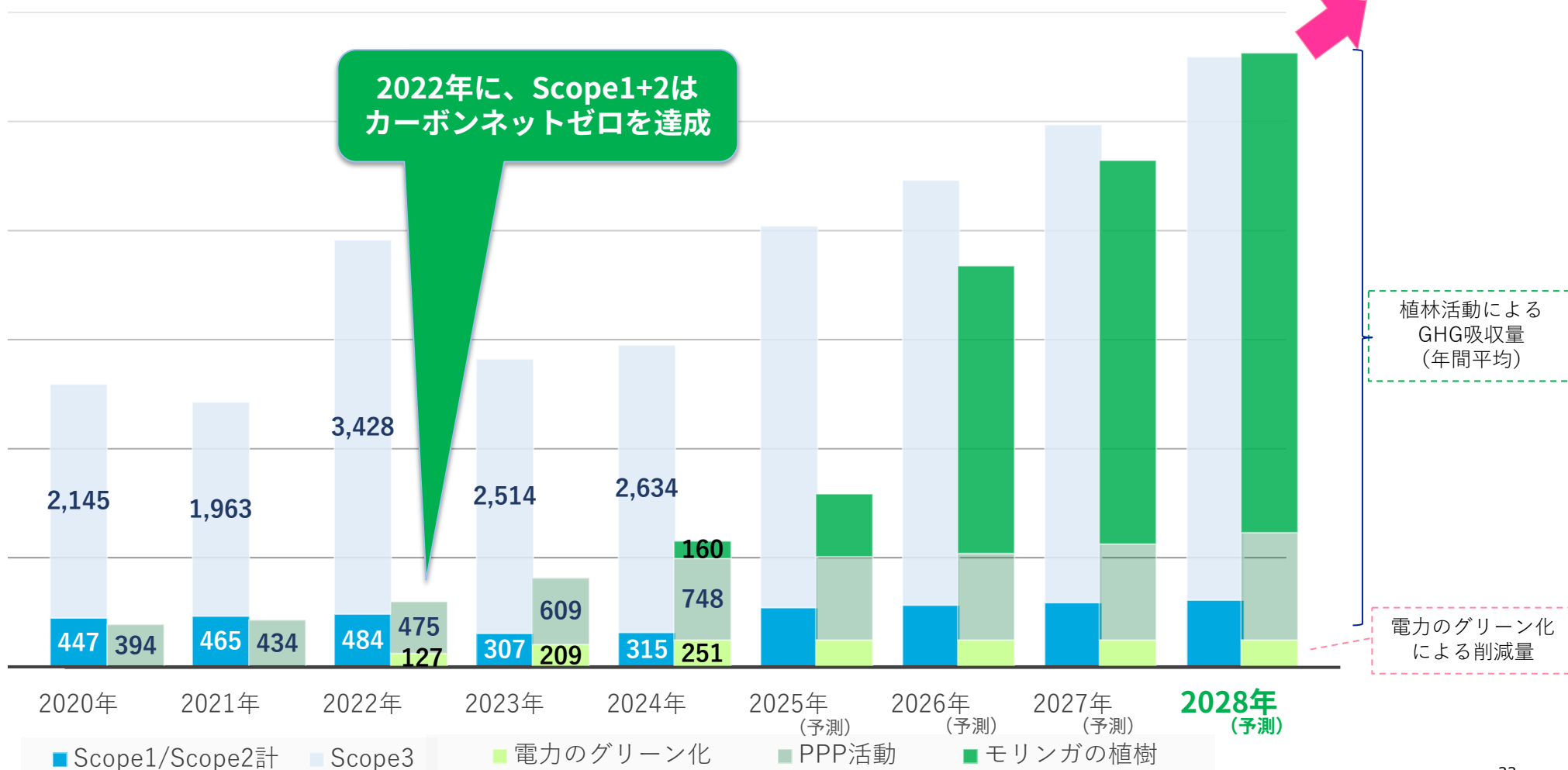
本活動は、参画する方の社会貢献に対する意識改革を促し、植林活動を社員と現地の学生達が共同で作業をすることで現地の雇用も創出。



2030年までにはScope3を含め2030年カーボンネットゼロを目指す

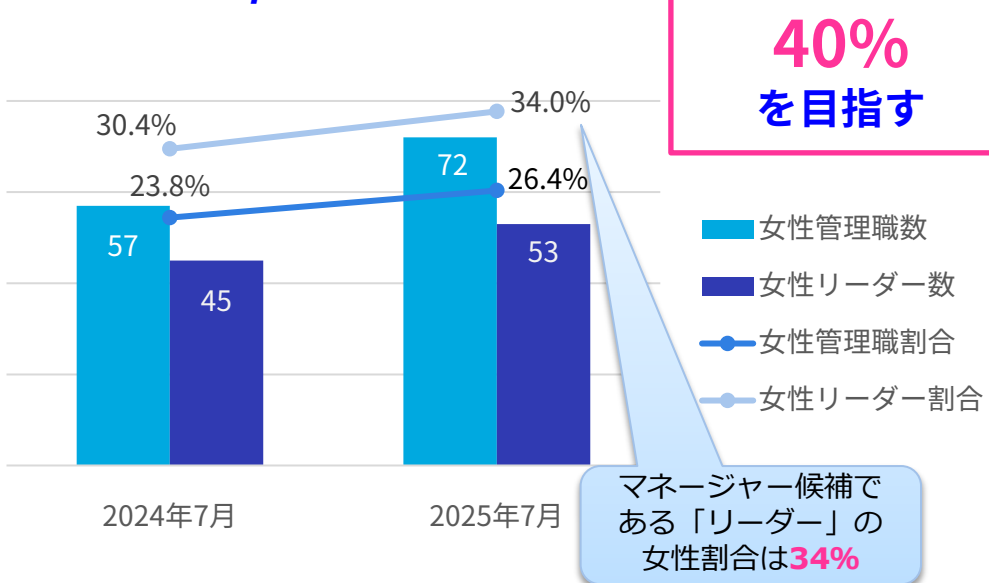
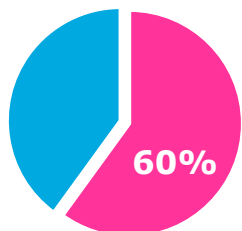
■ JACグループの温室効果ガス排出量及び吸収量の推移

2030年までに
カーボンネットゼロへ



※ Scope2の数値は2023年度からマーケット基準へ移行。

女性管理職/リーダー数の推移

トップで活躍するプロフェッショナル
コンサルタント※2の60%が女性

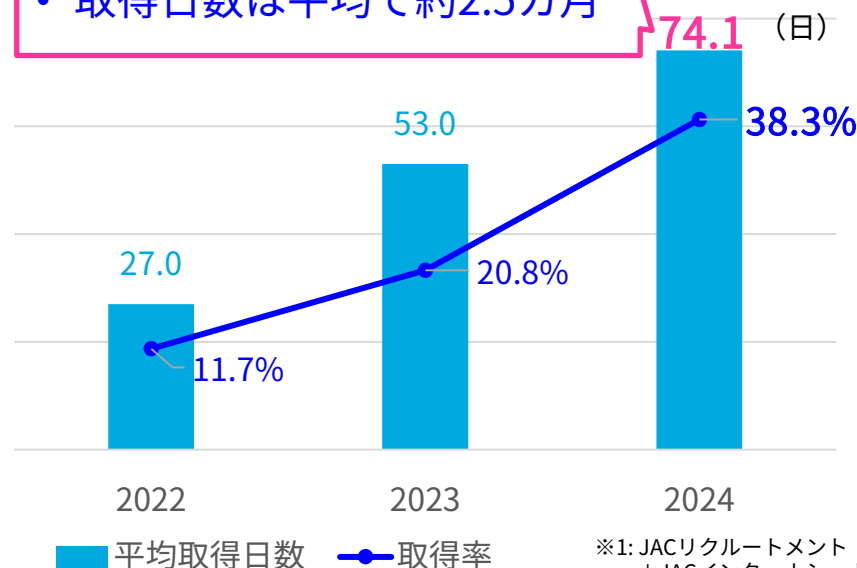
(2025年7月現在)

厚生労働省が女性活躍推進法に基づき定める女性活躍推進企業認定「えるぼし」で5つの基準の全てを満たし、最高位である3つ星（3段階目）を取得



男性育児休暇取得状況※1

- 取得率は着実に向上
- 取得日数は平均で約2.5カ月

※1: JACリクルートメント
+ JACインターナショナル

Working Parents Committee

— Since 2010 —

- ボランティアに参加するメンバー15名(うち男性2名)で運営 (2025年4月現在)
- 育児支援制度の浸透のための活動の他、介護休業制度の説明会も実施
- 9月にはFamily Dayを開催予定

※2: 300名以上の転職支援を成功させたコンサルタント

当社は、100名以上の転職支援を成功させたコンサルタントが加盟する社内認証制度「100+ Club」を運営。100+ Clubメンバーは、全コンサルタントの模範として、国内外の人材紹介事業を牽引する役割を担う。上記は、そのうち300名以上の転職支援を成功させた300+ Club以上のコンサルタントを集計。

- 多様な人が差別なく存在し (Diversity/多様性)、誰もが歓迎され、心理的に安心感と一体感を持つ (Inclusion/包括性) ことに加え、誰もが活躍できる環境や機会を提供する「Equity/公平性・格差是正」を取り入れ、より多くのプロフェッショナルが、より開かれた環境で自分らしく活躍できる職場づくりを推進
- 多様性を求めるクライアント企業に対して、多様な人材を紹介することで、さまざまな人材が躍動できる社会の創造に積極的に参画

社外ステークホルダーとの連携

- 東京レインボープライド2025へ参画
大阪レインボーフェスタへの参画も予定
- WebサイトにてLGBTQ+フレンドリー求人特集ページを作成 等



任意団体work with Prideが策定するセクシュアル・マイノリティへの取り組みに対する評価指標「PRIDE指標2024」において、最高評価である「ゴールド」を受賞



社内向けの取り組み

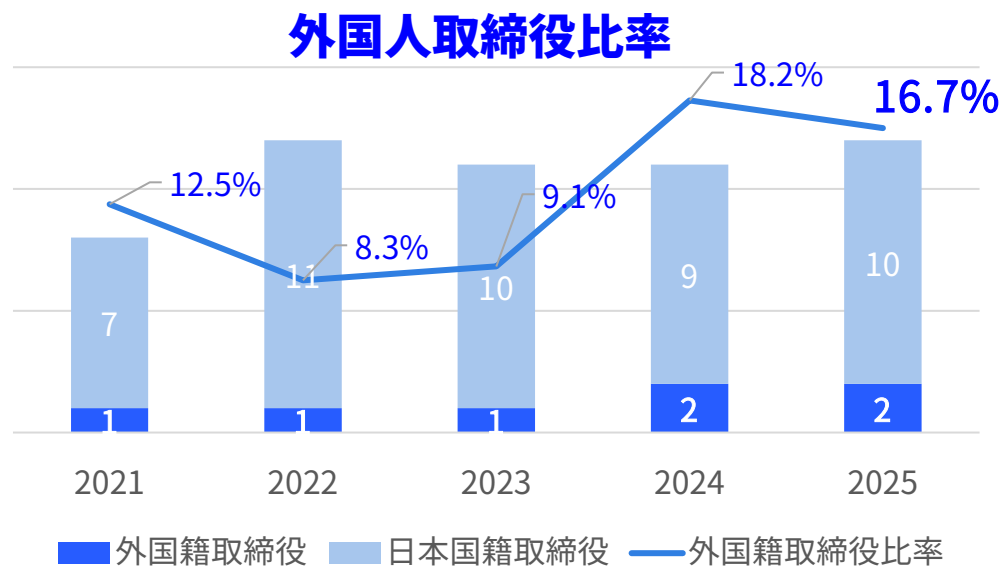
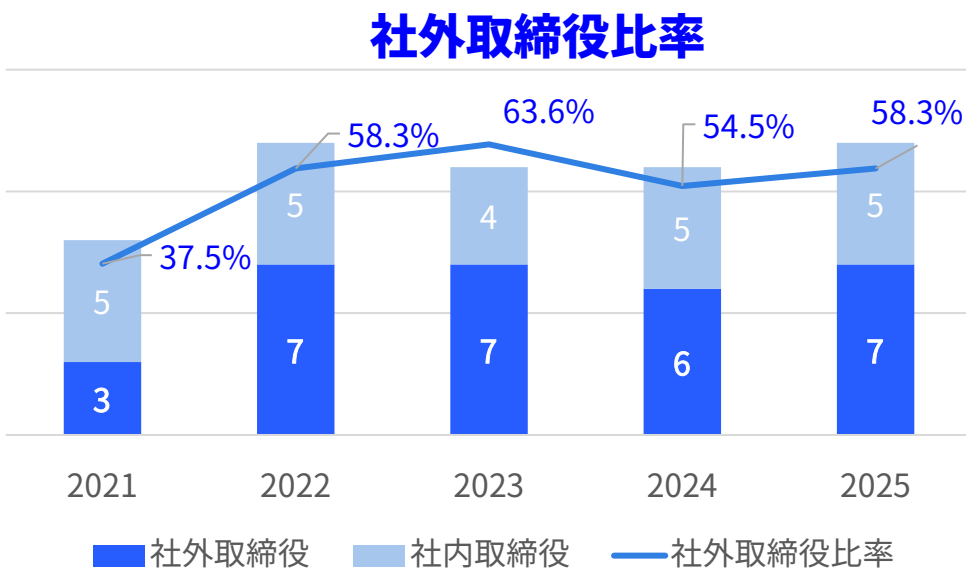
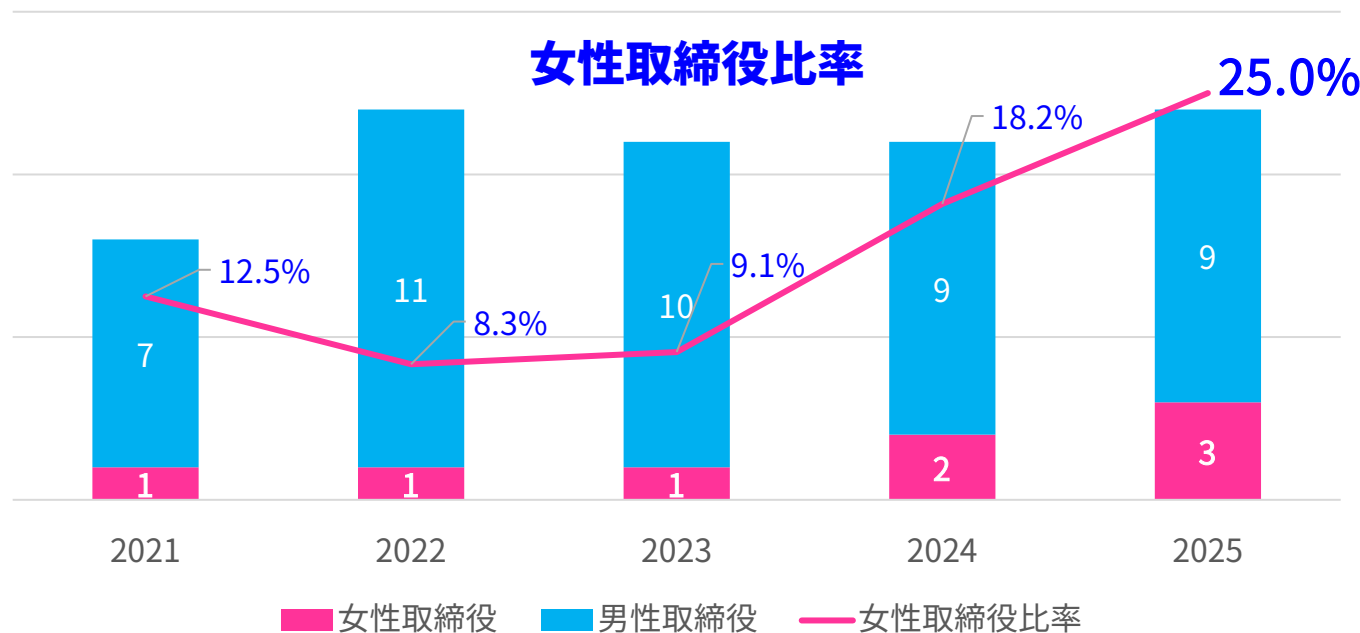
- Pride Month Quiz Nightの開催
- LGBTQ+のご登録者へのサポートTipsの更新
- ご転職サポート実施コンサルタントによる社内向けセミナーを開催予定
- Ally表明希望者へのAllyステッカー
オンラインミーティング用壁紙の配布 等



株式会社JobRainbowが主催する「D&I AWARD 2024」において、D&I推進に取り組むD&I先進カンパニーとして「ベストワークプレイス」に認定



G ガバナンス 取締役会の多様性

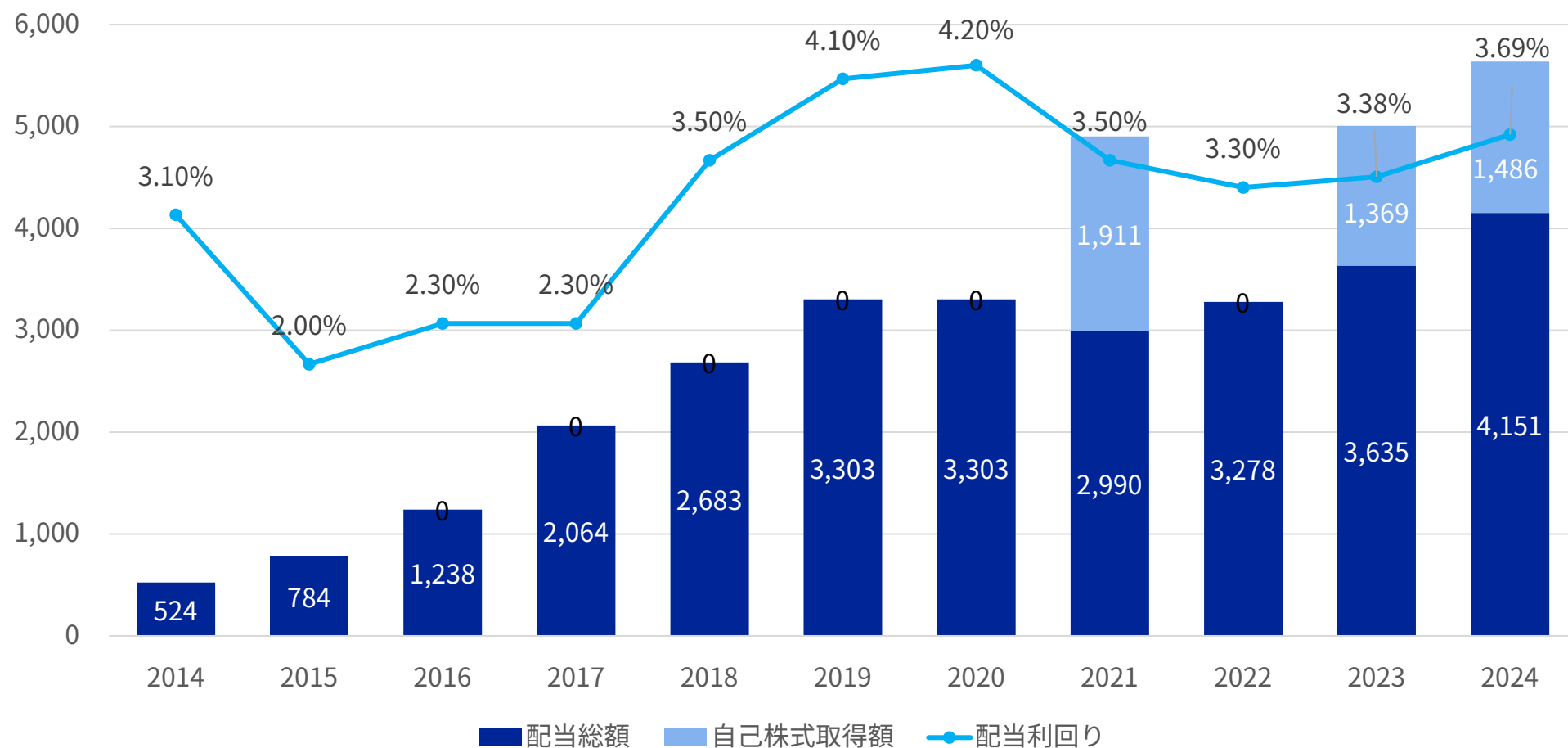


Appendix

株主還元実績

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	累計
配当性向	33.1%	42.3%	37.9%	56.0%	68.7%	75.9%	180.0%	76.8%	65.2%	60.9%	74.6%	68.3%
総還元性向	33.1%	43.3%	37.9%	56.0%	68.7%	75.9%	180.1%	126.3%	65.2%	83.7%	100.5%	79.9%

(百万円)

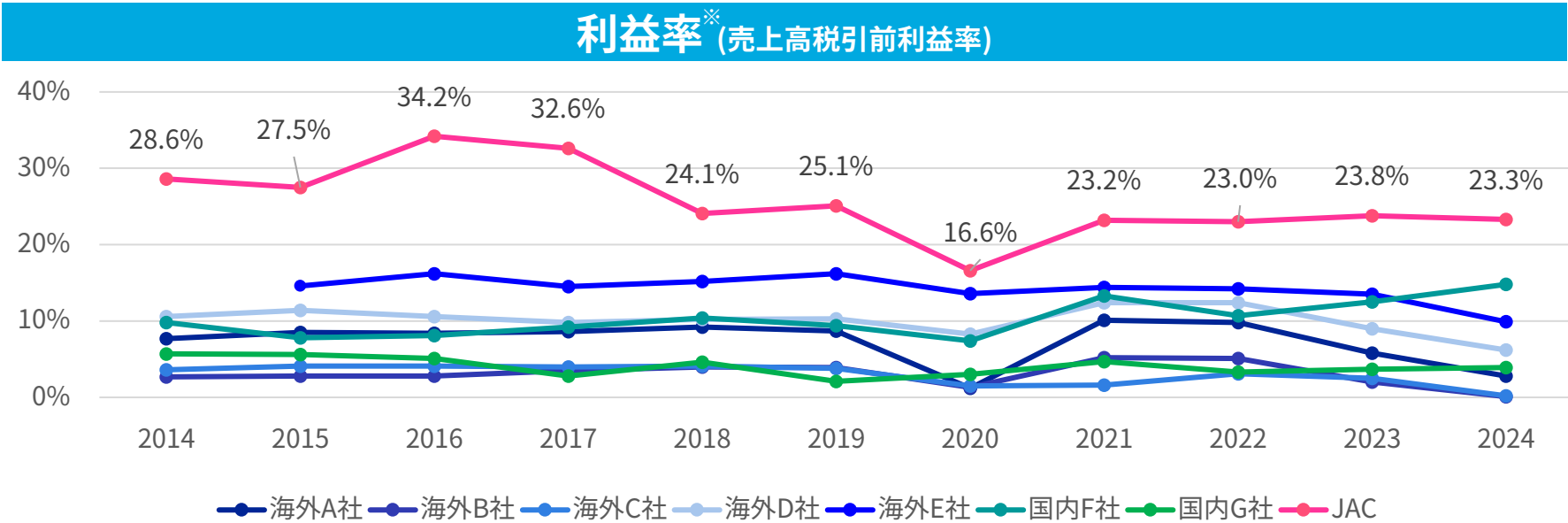


成長率、利益率、資本効率の状況

● 国内外の同業他社比で圧倒的な利益率の高さを誇り、成長率・資本効率の高さなどで、総合的に優位性を持つ。

	JAC Group	海外A社	海外B社	海外C社	海外D社	海外E社	国内F社	国内G社
成長率(過去10年間の売上総利益のCAGR)	👑1 14.8%	4.7%	4.1%	4.4%	1.6%	-0.6%	👑3 12.3%	👑2 13.2%
利益率(売上高税引前利益率の10年単純平均)	👑1 25.1%	7.3%	3.1%	2.9%	10.1%	👑2 14.2%	👑3 10.4%	3.9%
資本効率(10年単純平均ROE)	👑2 30.8%	👑3 26.8%	16.1%	20.1%	👑1 33.7%	20.4%	17.4%	13.1%

※2025年6月末現在

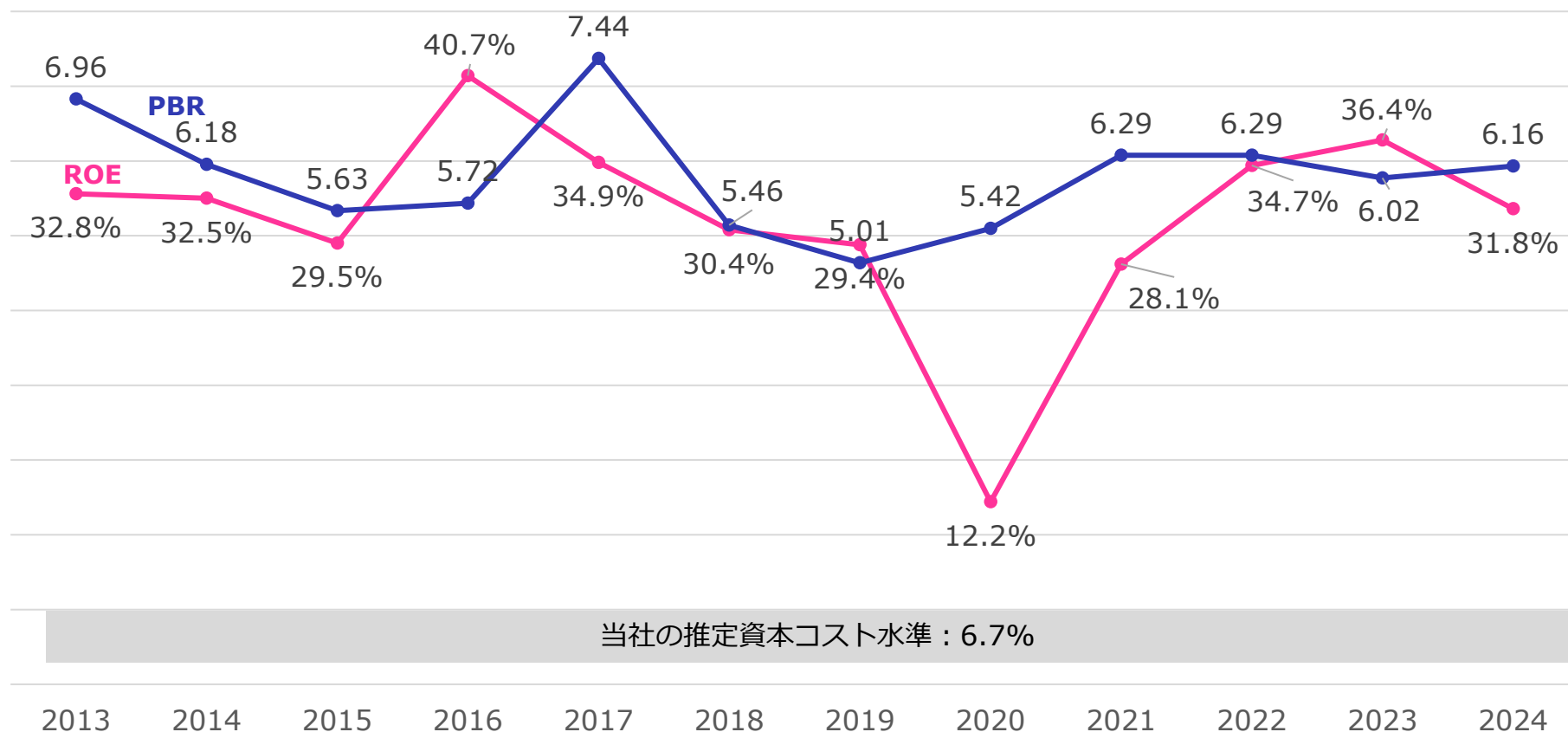


※2025年6月末現在

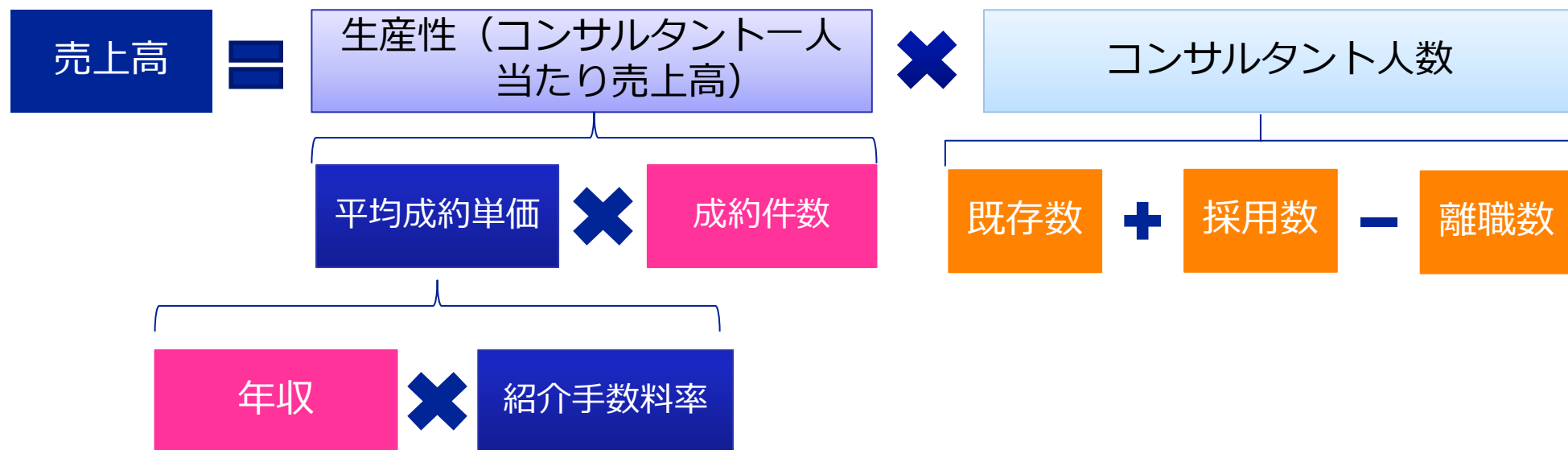
資本コストとROE

当社の推定資本コスト6.7%に対し、過去10年間のROEは常時これを大きく上回り、PBRも5倍以上を恒常的に維持。今後も高い資本効率を維持していく。

ROE・PBRの推移



収益モデル（人材紹介事業）



注意事項・お問い合わせ先

本資料は株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント（以下、当社）の事業及び業界動向についての当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさが伴います。既に知られたもしくはいまだに知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に対する表明は、2025年8月22日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2025年8月22日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表記の記載をも更新し、変更するものではありません。

資料に関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 広報・IR部

電話 **03-5259-6926** もしくは、メール ir@jac-recruitment.jp

<https://corp.jac-recruitment.jp>